



# 学校だより

令和4年2月号

村上市立朝日みどり小学校

村上市中原2726

電話 72-6665

FAX 72-6958

★朝日みどり小学校のホームページ★ <http://midori-e.murakami.ed.jp> (随時更新中)

## これぞ「あたたかい心 つくりだす力」

校長 見原 恵

朝日みどり小学校の学校教育目標は、「あたたかい心 つくりだす力」です。その教育目標の素晴らしい姿が、2月25日の「6年生の卒業を祝う会」で堂々と発揮されました。子どもたちの成長を実感し、あふれる感謝の思いで感激ひとしおの時間となりました。

今年度の「6年生の卒業を祝う会」も、昨年度同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の皆様、お世話になっている地域の皆様をお呼びすることができず、とても残念でした。また、会の運営も、最後まで感染予防の観点で悩み、規模を縮小し、「大声を出さない」「できるだけ接触のある場面をつくらない」「歌は歌わない」…などの制限を加えながら、子どもたち、職員みんなの「6年生に感謝の気持ちを伝えたい!」という思いを大事に体育館で行いました。

プログラム最初の6年生の入場では、ステージの台の上で6年生はそれぞれ「ハイポーズ」の合図に合わせてお気に入りのポーズでアピールしました。1人1人の個性があふれ出ていて、会場みんなが思わず笑顔になりました。

「6年生の卒業を祝う会」実行委員長の鈴木羅菜さんの「開会の挨拶」の後は、1年生から5年生までの出し物でした。1年生は、「大好きな6年生」というタイトルで動画を作成し、1人1人が、6年生に感謝していることや、6年生のすごさを語りました。2年生は、スクリーンで6年生への100個のメッセージを流しながら、合奏曲を2曲披露しました。3年生は、「みどりのリーダー、それは6年生」というタイトルで動画を作成し、6年生の活躍を楽しく伝えていました。4年生は、6年生の思い出の地、朝日みどり小学校の様子を動画で作成し、最後にステージ上で感謝のパフォーマンスをしました。5年生は、6年生から受け継いだ「校歌」の打楽器演奏を見事に披露しました。職員もハイブリッド型でメッセージを伝えました。事前に収録した5グループの動画に引き続き、3人の卒業担任がライブでメッセージを伝えました。その後、6年生からは、感謝の出し物がありました。体育が得意な6年生、ダンスが得意な6年生、ピアノやエレクトーンなどの演奏が得意な6年生の力がフルに発揮された、圧倒される出し物に感謝の気持ちがたくさん詰まっていた。6年生への色紙のプレゼント、くす玉割りと続き、副実行委員長の小田季弥さんの終わりの言葉で終わりました。

本当にどの学年の「出し物」からもあたたかい心があふれ出ていました。6年生の涙が物語っていたのではないのでしょうか。見ている私も心にじんときるものがありました。また様々な工夫をして6年生への感謝の気持ちを表現した出し物は、**つくりだす力**の素晴らしさを感じずにはいられませんでした。最高の「6年生を送る会」を創り出してくれた子どもたち、職員に「感謝」しかありません。



会を運営してくれた5年生



1・2年生が描いてくれた  
6年生と担任の似顔絵



くす玉前で記念撮影する6年生